

JPC 加盟競技団体 各位

(財)日本障害者スポーツ協会医学委員会

委員長 陶山 哲夫

ジャパンパラリンピック大会および各種国際大会出場に伴う ドーピング禁止薬使用選手の取り扱いについて

国際パラリンピック委員会が世界アンチ・ドーピング規程を採択したことにより、パラリンピック大会をはじめとする各種国際大会でも、アンチ・ドーピング検査が多く実施されるようになりました。当協会でも、ジャパンパラリンピック大会やその他の主催大会では積極的にドーピング検査を取り入れる方針をうち立てています。また、障害者スポーツにおいても、競技外検査として「抜き打ち」で検査を行うことになっています。

このため、当委員会アンチ・ドーピング部会では、大きな大会の前でなくても、恒常的に選手の使用薬物の調査を行なっています。薬物を使用している選手については、市販薬、処方薬を問わず、**すべての使用薬物リスト(禁止薬物でないと考えられる薬物も含む)**をお送りいただき、そのひとつひとつについてアンチ・ドーピング部会で調査した上で、個々の対応に当たります。初回のリスト提出に関しましては主治医の発行した診断書は必要ありませんが、各選手とも使用薬物に漏れのないようにご指示をお願いいたします。

使用している薬物のうち、禁止物質を含んでいるものについては、アンチ・ドーピング部会が選手本人や主治医と連絡をとり、**使用を中止する、禁止物質を含まない別の薬物に変更する、治療目的使用の適用措置(TUE)を申請する**等の対応を検討します。

特に、大会を前提としてTUE申請を行う場合には、大会21日前までに申請を終了していなければならないため、3ヶ月前には、使用薬物をアンチ・ドーピング部会に届けておくことがひとつの目安となります。手順につきましては、添付の【別紙3：国際パラリンピック委員会TUECへの禁止薬物使用許可申請の手順】をご参照ください。

不注意による禁止物質の摂取を避けるためにも、必ず使用薬物リストを提出し、処方薬を変更したり、市販薬を服用する際にも、確認を徹底するよう、ご指導のほど、よろしくをお願いいたします。

お問い合わせは...

〒350-8550 川越市鴨田辻道町 1981

埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション科

陶山哲夫(日本障害者スポーツ協会医学委員長)

草野修輔(同上 アンチ・ドーピング部会長)

Tel : 0492-28-3529 Fax : 0492-28-3529

Email : kusano@saitama-med.ac.jp